

伊仙町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で深刻な自然災害が発生しています。

また、日本各地においても、台風の巨大化や集中豪雨などによる甚大な被害が頻発しており、私たちの生命や財産の危機、さらには自然環境や生態系への悪影響など、全ての生物の生存を脅かす「気候危機」と言うべき極めて深刻な事態となっています。

IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の報告書では「人間活動による地球温暖化は疑う余地がない」、「世界の平均気温は、1970年以降、過去2000年間で経験したことのない速度で上昇している」と示しています。2020年10月に国は「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しています。

このことから、本町においてもまちづくりの将来像として掲げる「自然とともに育む、誰もが輝けるまち」の実現に向け町民、地域、事業者等の皆様と共に、連携・協力して二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和7年4月1日

伊仙町長

大久保 明